



今年の海高祭は、8月末から9月にかけての分散登校の影響で10月に延期となりました。
体育祭は例年とは違う学年別での開催となりましたが、晴天のもとで開催することができました。
総合優勝を勝ち取ったのは緑ブロック(3A・2B・1C)でした。

静波会だより

発行
和歌山県立海南高等学校
全日制海南校舎
静波会広報部
和歌山県海南市大野中651
TEL 073(482)3363
FAX 073(484)2346

体育祭

10/13(水)

優勝 緑ブロック
(3A・2B・1C)

3年A組スポーツ科説

3年A組は、一年生の頃から気合は十分なのに、とても本番に弱い。体育の授業では「二分間測って長縄をする」と言われるだけで、皆緊張して縄に引っかかっていく。しかし、今回の体育祭は違った。徒競走二位、玉入れ一位、長縄二位。驚くことに学年で優勝することができた。同じ緑ブロックの1年C組、2年B組も学年で一位、二位という結果を出してくれたおかげで、想像もしていなかったブロック優勝を手に入れたこととなった。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学年別、時間短縮という、最後の体育祭となる私達にとっては残念な条件の下で開催されることになった。正直このような制限をしても体育祭を行うことに賛成ではなかったが、緑ブロックの皆が団結し、全力を出してくれたおかげで、最高の思い出となった。

(代表 上野 和花)



文化祭 10月15日(金)

10月15日（金）、文化祭が開催されました。

今年のテーマは「cheerful ～今だけの経験を、共に。～」。

新型コロナウイルスの影響で多くの制約があり、準備も大変でしたが、展示（1年）、舞台（2年）、模擬店（3年）、有志・クラブ発表等、全力で取り組み、今年も素晴らしい文化祭になりました。

劇「リトルマーメイド ～ in 2D sea! ～」

特別賞
2年D組



**最優秀賞
2年B組**

劇「美女と野獣」

「三本の矢」

今年の文化祭がコロナウィルスの影響で開催されるか不安な中、劇の準備が進んでいた。その中で、出演者はもちろん、裏で衣装作りや照明などを担当してくれたクラスメイトの協力が、私たち2年B組のこの劇を成功に導いたと思う。でも、この劇の成功は、コロナ禍でも、文化祭をなんとしても開催しようとする徒会や自主活動部の先生が工夫と努力をしてくれたおかげです。この工夫と努力が私たち2年B組の底力を発揮させてくれました。「生徒会も先生も頑張ってくれている。だから私たちも！」私たちの劇は、コロナ禍だったからこそ最高の劇になりました。それは、文化祭のサブテーマである「今だけの経験を、共に。」のように。(代表 丸山 琉聖)

優秀賞 3年E組 模擬店「ジーニーの魔法の中華店」

みんなと力を合わせ成功させた劇「アラジン〜A whole 2E World〜」から一年。人間の姿に戻ってから、ずっと何をしようかと悩んでいた。「そうだ！中華店を開こう。」とお店を開くことはとても大変だった。アラジンやジャスミン、さらにジャファーまでもがお店の手伝いに来てくれた。「これでやつとお客さんを呼ぶことができるぞお〜。」とつてもウキウキな気分で開店初日を迎えることができた。ジーニーのお手伝いをしてくれるスマードナ従業員もたくさん集まってくれた。お店は大繁盛したぜ。来てくれたお客さんの顔を見てみると、とっても幸せな気持ちになったぜ。そして、優秀賞を取ることができたぜ。みんなと一緒に過ごせた時間はとっても幸せだったぜ。「また旅に出ようぜ。」(代表 堀田 真那斗)



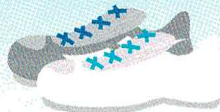
優秀賞 1年D組 展示「スーパーマリオ ステージ1-D」

私達はマリオの世界を作りました。分散登校になり、みんなで集まれる機会が少なかったりしましたが、オンライン会議を使って工夫しながら準備を進めました。そして、休みの日を使ったり、話し合いながらより良い展示ができるように力を合わせてがんばりました。ですが、ギリギリまで完成する目処が立たなかったり、何をすれば良いのか分からず停滞していた時期もありました。しかし、ここでD組の団結力が発揮され、無事完成させることができました。たくさんの方に楽しんでもらい、優秀賞という素晴らしい賞もいただきました。1Dも展示も最高で、大好きだなと思いました。

(代表 榎本 琉香)



健脚遠足



今年度の健脚遠足は、11月19日（金）に実施されました。例年1年生が参加する行事ですが、昨年度の健脚遠足は雨天中止だったため、2年生も参加しました。当日は絶好のハイキング日和。学校を出発し、藤白神社から湯浅駅までの熊野古道25kmを、仲間と仲良く楽しく元気よく歩きました。



歩き切った最終的な感想としては楽しかった。初めから楽しみという思いもあった。もしなんじだろうなという思いもあった。もちろん楽しかったが、班の子や時折会う友達に元気をもらって頑張れた。支え合って最後まで歩き切る事が出来た。終わってからというものの、寂しい気持ちが入み上げてきている体感的にはあつという間だった。気がつけば湯殿峡で、電車に揺られていて。皆と寂しいねなんと言い合ひながら帰って。何と寂しいなと感じた。仲間との絆も深まって、しんどいことも乗り越えられた。健脚遠足行けてよかった。

（二川 凜）

歩いて3つの峠を越えるなんてしたこと無かったので、とにかくきつかったです。でも友達歩きくると楽しみなが歩けたし、どれだけきつくても笑つてるときが多かった気がします。秋で紅葉が綺麗だったのもすごく象徴に残りました。下を向いて歩いてたとき友達に上を向いてみてと言われて見ると、赤い紅葉が広がっていてちょつと感動しました。しんからって、湯溪に着いた時に先生達しんからって、湯溪に着いた時に先生達が「おわえりー」って言ってくれて、安心して力が抜けるようになるくらい頑張れたのはいい経験だなと思いました。

（米川 幸穂）

25 kmを歩く経験は初めてでしたが、人間の脚力や体の凄さは見直す機会となりました。私自身、車や電車に乗りながら旅をしたり、風景を楽しむこともとても好きだが、実際に歩くことで、視覚、聴覚、触覚、嗅覚など、多くの感覚機能ははたらき、公共交通機関や自動車を利用するよりも、移動する過程での充実感を何倍も得ることができた。また、地元の方と挨拶したり、会話をしたり、みかんを頂いたりと、コロナ禍で難しくなっていた「人との繋がり」を改めて感じることで、人の温かさや美しさに触れることができた。そして、同じ和歌山県なのに、知らない光景がたくさんあり、毎秒毎秒の小さな発見が面からきた。今回の健闘遠足で、和歌山県の魅力にさらに感じる事ができた。自然の豊かさ、人の温かさは他県に誇れる素晴らしいものだと思確信した。加えて、地元の良いをもっと勉強したいと思う好奇心にも繋がり、良い経験となった。

(橘川 萌)

結構早いペースで最後までの、とてもしんどかった。でも最後まで班のメンバーがバラバラになることなく湯浅駅にゴールすることができました。頑張って山を登り、山頂から見た海や町の景色はとても綺麗でした。班のメンバーたちとは、より仲が深まったと思います。

(岡野光陽)

初めて熊野古道を歩いてみて、和歌山の自然を感じることが出来た。今回の健脚遠足を通して、改めて和歌山県は自然が豊かないい所だと思った。そしてこの健脚遠足で前々より絆を深めることが出来た。しんどかったけどゴールした時に達成感がありとてもいい経験になった。

(宮田昂佳)



し気持ちになった。でも、リベンジで今年は晴天天下を歩いて最高だった。友達との友好関係が今まで以上に高まった。1日になった。熊野古道の所々に歴史あるものや有名なところ、マニアックなところなど様々なのぞ見、地元愛が増した。それに、峠を登り切った時に見た絶景に笑顔がこぼれた。

(森脇悠輝)

25キロ友達と歩いて、しんどかったけど楽しかったです。1人だと絶対ゴール地点までたどり着けなかったと思うし、仲間って大事だなあ思いました。しんどくても一緒に励ましてくれたり、たくさんおしゃべりをしながら歩いたり、より仲が深まるように感じます。湯浅駅に着いたときの達成感と疲労感。は、絶対忘れないと思います。永遠に続くみかん畑のみかんがとても美味しかったです。

想像していたより、険しい道や、急な坂道が多くあった。班のメンバーとは離れず、常に4人で励まし合ひながら頑張った。今まで少ししか話したことがなかった子と、たくさん話せて仲を深める良い機会となった。25キロはしんどい思いをしたが楽しかった。また湯沢駅に着いたときは、達成感で満ち溢れていた。

峠を3つも越えて目的地にたどり着いて、凄くいい経験ができた。元々登山など歩くことが好きで、この経験が、将来にも繋げて行ければいいなと思った。

本当天皇がこの道を通ったの？とて驚くほど道険しかった！5時間かけて歩いた道も今では30分電車に乗れば着くことに、自分たちがいかに便利な世界に住んでいるかして事を改めて感じた。

(成川亜季)
 (丸山琉聖)

(油谷依里)

健闘満足をいく前は歩くだけで楽しめなそうだなと思っていたけど、友達と喋ったりお菓子を食べてたりしながら歩き、想像以上に楽しむことが出来た。また、予想以上に峠を越える道が険しかったけど、友達の様子を見ながら協力して歩くことが出来たと思う。今回の満足をより友達との絆を深めれていたらいいなと思った。そして団体行動する時の協力することの大切さも実感することが出来た。途中、友達が足を痛めてしまった時にみんな一人一人がどうするべきかを考え、行動に移していたのはとても良かった。対応出来なかった。最近コロナの影響であまり大きなイベントをするのが少なかったからなのか、今回の

本年度 紹介クラブ

- ①部員数
- ②活動日・時間
- ③活動内容
- ④主将・部長の言葉
(目標・抱負等)

JRC部



- ①1年2名 2年2名
合計4名
- ②毎週水曜日の放課後
- ③活動内容はベルマークの回収、集計や校外清掃、ボランティアなどです。
- ④JRC部は週に一回の活動なので、兼部ができ、勉強も両立することが出来ます。また、部員も多いため、学年関係なく気軽にお喋りすることが出来ます。来年こそは、今年できなかった学童保育のお手伝いや校外清掃にも挑戦していきたいと思います。

(部長 前田 万里奈)

美術部



- ①1年7名 2年6名 3年8名
合計21名
- ②活動日は毎週木曜日の放課後
- ③一人一人が文化祭や県高校文化祭に向けて作品づくりに取り組んでいます。また、地域の企業さんと一緒に作品づくりなども行っています。
- ④絵を描くことが好きな人が集まっている部活なので、お互いの作品についてアドバイスし、よりよい作品をつくる事が出来ます。文化祭は作品の仕上げや準備で忙しいですが、文化祭が終わるとやりきった達成感を得ることが出来ます。部室にはたくさんのお絵かきがあるので、油絵など普段できないことにも挑戦することが出来ます。学年関係なく、過剰しやすい部活づくりを目指して頑張ります。

(部長 奥野 絢香)

女子バレーボール部



- ①1年3名 2年3名 3年7名
合計13名
- ②平日は約3時間(16:00~18:30) 休日は半日練習、大会に向けて数多く練習試合を行っています。
- ③練習メニュー等を自分たちで考えることで、個人の能力やチーム力の向上を目指しています。各大会前には練習試合を積極的に組むことで、レベルアップの確認を行い、大会で一つでも多く勝てるように頑張っています。
- ④私たちはベスト4に進出することを目標として、日々の目標を掲げ努力しています。また、先輩後輩どうし意見を出し合うことでチーム力の向上に努め、キャプテンを中心に日々練習に励んでいます。練習している成果を試合で発揮できるように、プレーの中でお互いの考えを確認し合い、私たちの戦略が決まるよう声を合っています。チームの特徴である粘り強いプレーに磨きをかけ、苦しい時ほど諦めず前へ突き進んでいく精神を身につけていきたいと頑張っています。

(主将 矢口 佳那)

吹奏楽部



- ①1年5名 2年15名 3年3名
合計23名
- ②平日は2時間、休日は6時間
- ③平日は教室に分かれて個人練習やパート練習、セクション練習をしています。休日は主に合奏をして全員で1つずつ曲を仕上げていきます。コンクールや演奏会、野球応援などに向けて楽しく練習しています。
- ④吹奏楽部は部員全員が主役であり、そして指導してくれる先生も一緒に本番に出れるという他の部活にはない魅力をもつ部活です。ポップスやクラシック、ジャズなど幅広い音楽を自分たちで選んで演奏できます。自分たちが楽しいだけでなく、きいている人にも楽しんでもらえるような演奏を目指して頑張ります。

(部長 岩田 音彩)

男子バスケットボール部



- ①1年8名 2年11名 3年5名
合計24名
- ②平日は約3時間、休日は半日(約4時間) または練習試合など
- ③練習では、パスやシュートなどの基礎練習をはじめ、1対1、2対2や、5対5のゲームなどの対人練習を行うように幅広い種類の練習をしています。週末は他校との練習試合を積極的に行って、自分達に足りないものなどを見つけ、今後の練習に生かすように頑張っています。
- ④僕は近畿大会出場を目標に掲げて、川口先生の指導の下、キャプテン、副キャプテンを筆頭にチーム全体で日々練習に励んでいます。先輩後輩関係なく、分からないこと間違えていることがあれば、聞いたり教えたりして支え合っています。目標を立てるだけでなく、達成できるように努力し、応援してもらえたいことをあたりまえだと思わず、応援してくださる方々への感謝を忘れないようにして頑張っていきます。

(主将 濱 維斗)

オリンピック・パラリンピックに出場

南出大伸選手(平成26年度卒業)が東京2020オリンピック競泳のオープンウォーター、マラソンスイミングに、また、生馬知季選手(平成22年度卒業)が東京2020パラリンピック陸上競技の男子100mに出場しました。

大会終了後には両選手とも海南高校を訪れ、大会の報告とともに今後の大会に向けての思いを語ってくれました。



『前を向いて』



静波会 会長
岡本 和哉

日頃より、海南高校静波会活動にご理解とご協力をいただいている全体的に、心より感謝を申し上げます。

新型コロナウイルスによる感染症が流行しはじめて二年が経過しています。そして、今も尚、拡がり続けています。様々な感染拡大防止策を講じられているにもかかわらず、いまだその出口が見えてこない状況です。

この先のことを考えると、学校も社会全体もどうなっていくのか予想できない状況で、生徒も我々大人も不安が大きくなっていますが、その時々々の社会の動向に注視し、前を向いて進んでいくことをお互い考えていきたいものです。

今年度も静波会の活動は、昨年同様に縮小してきたところがあります。PTAとして十分な活動が出来なかったことは残念でなりません。

さて、卒業生の皆さん、ご卒業本当におめでとうございます。

高校生活を共に過ごした仲間をいつまでも大切にしつつ、自分の将来像をしっかりと考え、見つめながら一歩一歩進んでもらいたいと思います。そして、社会の一員としての自覚と責任を果たすよう努めて欲しいものです。我々は、いつまでも皆さんの味方であり、そのためのサポートを続けていきます。

最後に、今年一年間、静波会へのご理解・ご協力に感謝申し上げ、次年度以降も変わらず、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

第1回 海南チャンピオンシップ

例年行われていた後期クラスマッチに替わり、今年度より行われることになった行事です。今年度は前期のクラスマッチが中止となったため、スポーツ大会+クイズ大会の形式で実施されました。種目はバレーボール、バスケットボール、ボーリング、イントロクイズ、箱の中身はなんだろう、生徒会からの挑戦状(○×クイズ)の6つ。1、2年生の10クラスで争い、2年E組が初代チャンピオンとなりました。

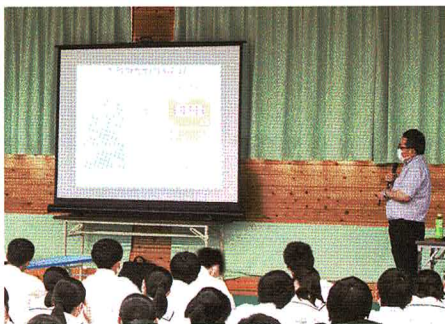
学校説明会

10月23日(土)、中学生415名を迎え、学校説明会が行われました。今年度は体験学習は実施せず、生徒会執行部の進行による全体会、1年生アシスタントによる校内クルーズ、クラブ見学を2回に分けて実施しました。



講演会

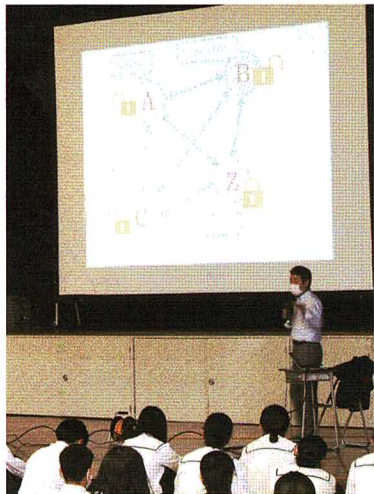
5月21日(金)
1年生
『熱中症からカラダを守ろう』
(大塚製薬株式会社・森和彦氏)



5月21日(金)
3年生
『いのちの大切さー意思と意志ー』
(高野山大学・森崎雅好氏)

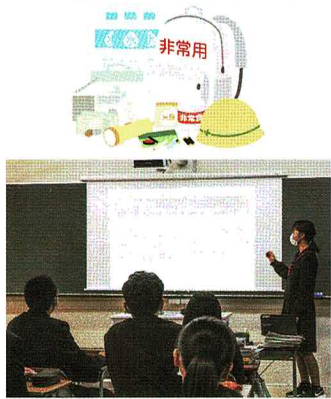
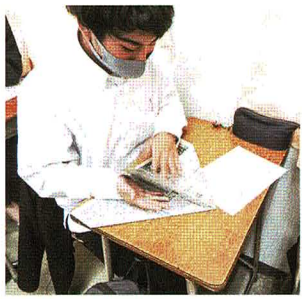


5月27日(木)
1・2年生・ネットモラル講習会
(和歌山IT教育機構・佐々木哲氏)



防災スクール

11月5日(金)
大地震や自然災害に備えて防災への意識を高め、地域防災の担い手として社会貢献できる青少年の育成を目的として防災スクールが実施されました。全学年避難訓練に加え、1年生はクイズによる防災学習とマイトイレ作り、2年生は災害時に高校生が果たすべき役割、責任についての討論を行いました。



人権講演

11月2日(火)「あきらめない心」
ちゃんへん. さん
在日コリアンとして生まれ、壮絶ないじめにあいながらも挫折から立ち直り、米国のジャグリング大会で金メダルを獲得するまでになったパフォーマー・ちゃんへん. さん。ジャグリングパフォーマンスを披露して頂いたあと、実体験をまじえながら民族差別や朝鮮戦争についてのお話をしてくれました。

